

稲取漁港と文化公園を中心とした稲取温泉エリア

1
目指すべき景観像

漁港の風情を感じながら散策できる稲取キンメと雛のつるし飾りの街



① 漁業と観光が融合する稲取漁港



② つるし飾り文化と観光が融合する街並み

2
地域特性と景観形成の方向性

「漁港」と「観光」の2つの機能と景観が両立しており、更に住宅地としての側面があるため、それぞれについて地域特性及び景観づくりを進める方向性を整理します。

① 漁業と観光が融合する稲取漁港

(1) 歴史・観光



ブランド魚の稲取キンメ(金目鯛)の水揚げ港である稲取漁港周辺は、歴史的には江戸城築城石を江戸に運搬する際の拠点であったことから、当時の築城石が残されていたり、鯨やイルカ漁が行われていた名残として供養塔が今も大切にされているなど、歴史を感じられる史跡も点在しています。観光面では、漁港という立地をいかして、土日・祝日には「港の朝市」が開催され、多くの観光客で賑わいます。また、漁港で水揚げされた金目鯛を提供する飲食店なども点在し、「雛のつるし飾りまつり」期間中は稲取駅、漁港、文化公園を移動する人が多くなります。

(2) 防災



エリア全体が海に隣接した地域なので、津波の危険があります。有事の際の避難経路の確保や防波堤の整備など、観光地における景観と防災を合わせて検討する必要があります。

〈景観形成の主な課題〉

- ・漁港の風情に関する住民の再認識
- ・漁港の景観を妨げないための看板設置に関するルール作り
- ・稲取駅及びその周辺や温泉街の景観についての課題把握
- ・漁港以外にも海を感じられる休憩スペースの不足
- ・観光地としての景観と防災の両立

② つるし飾り文化と観光が融合する街並み

(1) 文化公園を中心とした観光と景観形成



文化公園はつるし飾り展示の中心施設として観光施設の側面を持つと同時に、芝生広場や足湯が併設され、町民の憩いの場としても利用されています。今後は稲取温泉の玄関口として、観光情報の発信拠点となる機能を整備することや、町民と観光客が気軽にくつろげる空間づくりが必要です。

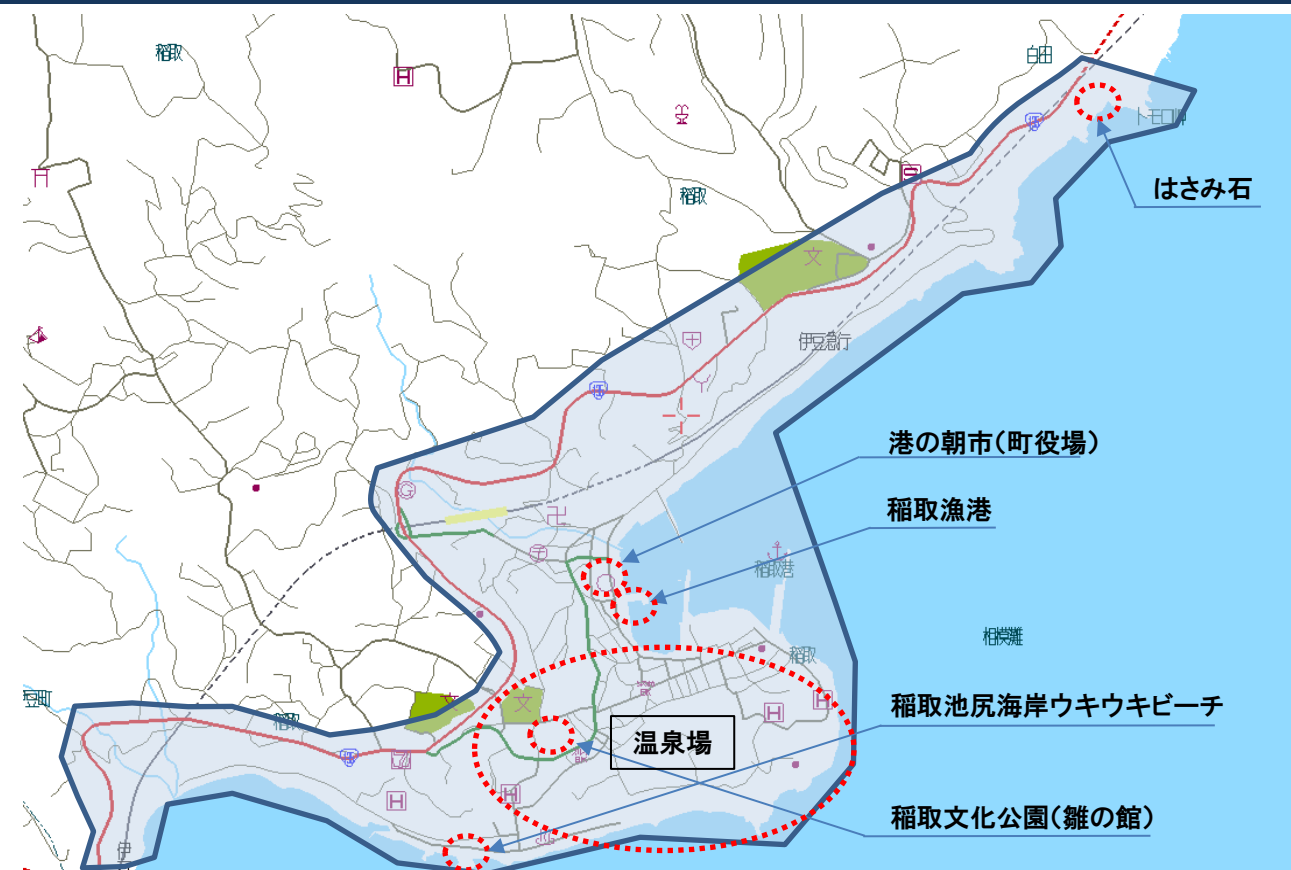
(2) つるし飾りを中心とした文化が感じられる街並みの景観形成



雑のつるし飾りの展示会場はもちろん、街中の数多くの店舗・住居等でつるし飾りが展示され、つるし飾りが街並みに馴染んだ景観が形成されています。このような純日本的な景観を大事にしながら、観光客が地域の文化や歴史に触れ、より楽しめる空間としていくために、稲取温泉の観光・文化情報を積極的に発信するための拠点整備が必要です。

〈景観形成の主な課題〉

- ・観光の拠点となる施設の整備
- ・核となる文化公園、漁港、駅を観光客が回遊できるルートの構築
- ・漁港を中心に点在する様々な要素の保全(特に外観に関するもの)
- ・地域住民と協力した景観形成
- ・様々な観光資源を散策できる環境整備
- ・街中に増加する空き家、空き店舗対策
- ・稲取の美しい景観が見渡せる視点場の整備
- ・稲取の景観を発信する取組
- ・文化公園を中心に、池尻海岸、志津摩海岸の景観を楽しめる環境整備



漁港の風情を感じながら散策できる稲取キンメと雛のつるし飾りの街

目標1

漁港の風情を感じながら散策できる
漁港の景観を生かしたまちづくり



目標2

文化と観光案内の拠点となる文化公園を活かした景観づくり



景観づくり方針

- ①誰もが漁港の風情を感じながら快適に散策できる景観づくり
- ②観光客が道に迷わない環境づくり

景観づくり方針

- ①つるし飾りを中心とした文化情報の発信に相応しい景観づくり
- ②観光客も住民もくつろげる空間づくり

目標1 漁港の風情を感じながら散策できる漁港の景観を生かしたまちづくり

方針1-① 誰もが漁港の風情を感じながら快適に散策できる景観づくり

取組み

- 景観を阻害する使用されていない公有施設の撤去
- 景観や雰囲気配慮した街灯の整備
- 漁港周辺の一斉清掃

- 漁港と稲取岬を見渡す視点場の整備
- 観光客の拠点となる施設の整備
- 観光地における景観と防災を両立させたまちづくり
- はさみ石の観光資源化

実施主体

- 町(観光商工課)
- 町(観光商工課)
- 町(観光商工課)
- 町(観光商工課)
- 町(観光商工課)
- 町(観光商工課,防災課)
- 町(観光商工課)

短期

中・長期

方針1-② 観光客が道に迷わない環境づくり

取組み

- 通年使用できる観光マップの作成、多言語化
- 避難誘導灯としても活用できる街灯の整備

- 観光案内機能を充実させた駅舎の整備
- 観光客の動線を意識した統一性のある案内看板の整備
- 観光客の動線を意識したWiFi環境の整備

実施主体

- 稲取温泉観光協会
- 町(観光商工課)
- 伊豆急行
- 町(観光商工課)
- 町(観光商工課)

短期

中・長期

目標2 文化と観光案内の拠点となる文化公園を活かした景観づくり

方針2-① つるし飾りを中心とした文化情報の発信に相応しい景観づくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ●文化公園再整備に関する基本計画の策定 ●現在の文化公園の適正管理の継続(足湯、芝生広場) 	<ul style="list-style-type: none"> ●町(観光商工課) ●稲取温泉旅館組合, 稲取温泉観光協会
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ●つるし飾り展示施設の再整備 ●観光の拠点となる施設の整備 ●稲取の景観を発信する取組(芸術祭など) 	<ul style="list-style-type: none"> ●稲取温泉旅館組合 ●町(観光商工課) ●町(観光商工課), 地域住民

方針2-② 観光客も住民もくつろげる空間づくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ●老朽化した蛍光灯など街灯の改修 ●自動販売機等の景観配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ●町(観光商工課) ●町(観光商工課)
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ●観光客も住民も利用できる休憩スペースの整備 ●稲取温泉観光商店街の景観整備 ●池尻海岸天然プールの再整備 ●ランドマークの照明整備 	<ul style="list-style-type: none"> ●町(観光商工課) ●稲取温泉観光協会 ●町(観光商工課) ●町(観光商工課)

